



能登半島地震からの 復興への取り組み

日時 2025年9月20日(土) 13:00-16:55 (予定)

会場 金沢大学 角間キャンパス 自然科学大講義棟

主催 日本経済新聞社

共催 金沢大学

後援 内閣府、石川県、北陸経済連合会

JR西日本

Kataoka

菊姫

カスリのアオキ

共催 金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY

協賛

Shibuya
渋谷工業

Daiwa House®

TSUDA KOMA
津田駒工業株式会社

PROGRAM ※講演者・講演内容・タイムスケジュールは事前の予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

13:00~13:05 オープニングメッセージ (ビデオメッセージ)

馳 浩氏 石川県知事

13:05~13:10 オープニングメッセージ



和田 隆志氏 金沢大学 学長

1988年金沢大学医学部卒業。1992年同大学院医学研究科博士課程修了。医学博士。専門は腎臓内科学。ハーバード大学Brigham and Women病院研究員を経て、2007年金沢大学教授就任。学長補佐、医薬保健学域医学類長、副学長を歴任後、2020年に国立大学法人金沢大学理事に就任。2022年4月から現職。
文部科学省 中央教育審議会 委員／大学分科会 副分科会長／大学院部

会 部会長、科学技術・学術審議会 人材委員会 主査代理、内閣府 健康・医療戦略推進専門調査会 委員、厚生労働省厚生科学審議会委員、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED) プログラムスーパーバイザー、北陸経済連合会 常任理事、大学コンソーシアム石川会長、石川県令和6年能登半島地震復旧・復興アドバイザーボード座長なども務める。

13:10~14:00 基調講演

「復興、そして創生へー能登発・持続可能な未来への挑戦」



伊藤 聡子氏 キャスター／事業創造大学院大学 客員教授

東京女子大学在学中よりキャスターとして活動を開始し、現在はTBS「ひるおび!」や読売テレビ「情報ライブ ミヤネ屋」などにコメンテーターとして出演。東京と地方との格差や地域課題の解決にはビジネスの視点が不可欠と捉え、事業創造大学院大学にて経営管理修士 (MBA) を取得。2010年、同大学の客員教授に就任。

数多くの企業や経営者、自治体の取り組みを取材し続けており、地方創生や企業経営などをテーマに幅広く活動している。地方創生・中小企業政策・エネルギー・地球温暖化対策・社会資本整備など、各省庁の審議会の委員なども務める。

14:00~14:20 講演

「能登の復興と日本の未来」



谷内江 昭宏氏 金沢大学 理事・副学長／能登里山里海未来創造センター長

1979年金沢大学医学部卒業。1983年同大学院医学研究科博士課程修了。医学博士。専門は小児科学。金沢大学医学部講師を経て、1997年同大学保健学科教授に就任。2008年より同大学小児科教授。学長補佐、附属病院副院長を歴任し、2024年4月から現職。
石川県地域医療対策協議会構成員、石川県感染症連携協議会委員、石

川県顧問(感染症対策担当)、能登町復興推進委員会委員、野々市市予防接種健康被害調査委員会委員、金沢市予防接種健康被害調査委員会委員、一般社団法人能登官民連携復興センター理事、公益財団法人森永奉仕会評議員、公益財団法人北國がん基金理事、石川県令和6年能登半島地震復旧・復興アドバイザーボード委員なども務める。

14:20~15:30 パネルディスカッション

「能登復興の現状とこれから」

●パネリスト



藤沢 烈氏 能登官民連携復興センター長

1975年京都府生まれ。一橋大学卒業後、マッキンゼー・アンド・カンパニーを経て独立し、NPO・社会事業等に特化したコンサルティング会社を経営。東日本大震災後、RCF復興支援チーム (現・(一社)RCF) を設立し、災害復興に関する情報分析や事業創造に取り組む。

現在は、全国での復興事業及び地方創生事業を、行政や企業など多様なセクターとの連携を通じ展開しており、2024年10月の能登官民連携復興センター設立当初からセンター長に就任。過去の災害復興に関わった経験を活かし、能登の創造的復興に尽力している。



篠田 隆行氏 金沢大学 学長補佐（地域共創担当）／先端科学・社会共創推進機構 教授／能登里山里海未来創造センター 教授

1996年横浜国立大学経営学部卒業。2008年東京大学大学院教育学研究科総合教育科学専攻修士課程修了。主な研究分野は地域経営、高等教育論。都市銀行勤務後、國學院大学、富山国際学園富山短期大学経営情報学科を経て、2021年より金沢大学先端科学・社会共創推進機構に着任。2024年7月から現職。

金沢大学能登未来社会SDGs研究部門研究プロジェクト総括担当、北陸未来共創フォーラム地元人材育成分科会キャリアアップ・スキルアップ支援WG座長、珠洲市まちづくり創造会議委員、白山市地域コミュニティ活性化推進委員会委員長、南砺市シティプロモーションガイドライン検討委員会委員長などを務める。



渡辺 綱男氏 国連大学サステナビリティ高等研究所 客員リサーチフェロー

1956年東京生まれ。1978年に環境庁に自然系職員（レンジャー）として入庁、全国の国立公園や野生生物の保護管理にあたる。シマフクロウ、トキ、ヤマメコなどの保護回復の取り組み、釧路湿原の自然再生や知床の世界遺産登録、生物多様性国家戦略や生物多様性条約COP10の開催などを担う。東日本大震災からの復興に向けて三陸復

興国立公園やみちのく潮風トレイルづくりにも携わった。2011年より自然環境局長を務め、2012年に環境省を退官後、国連大学サステナビリティ高等研究所や自然環境研究センターに勤務。能登では、地域の皆さんとの連携により、世界農業遺産に認定された里山里海の保全・活用・継承に関わってきた。

●モデレーター



福田 布貴子氏 フリーアナウンサー

福井テレビアナウンサーとして18年間勤務し、長年ニュース・報道番組のキャスターを担当。地方の未来について提言するパネルディスカッション型番組「タイムリーふくい」ではキャスター兼ディレクターとして深く番組制作に関わった。2018年春からフリー。東京を拠点に司会者やモデレーターなど多分野で活動するほか、記者・リポーターと

して北陸新幹線や原発など福井関連のニュース取材にも携わってきた。現在は、前田工織（福井・東京本社）社外取締役、福井県文化振興事業団理事、国土交通省近畿地方整備局・福井県「九頭竜川流域懇談会」委員、福井県小浜市「若狭おぼま御食国大使」などを務める。2009年FNSアナウンス大賞受賞。

15:30～15:45 休憩

15:45～16:55 パネルディスカッション

「能登復興に取り組む産業界の連携」

●パネリスト



石原 利信氏 西日本旅客鉄道 執行役員金沢支社長

京都府出身。1990年JR西日本入社、金沢支社企画課長、建設工事部次長、大阪工事事務所長等を歴任。これまで、大阪駅うめきたエリア等の各エリア開発PJに携わる。鉄

道本部構造技術室長を経て、2024年6月に執行役員金沢支社長に就任。北陸新幹線敦賀延伸によりエリア内が1時間で結ばれた北陸地域の発展及び能登エリアの創造的復興に尽力している。



多田 健太郎氏 和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会 代表（和倉温泉 多田屋 代表取締役社長）

創業明治18年、和倉温泉 多田屋 代表取締役社長。大学卒業後アメリカ留学を経て、東京の広告代理店サイバーエージェントに就職。2002年に旅館に戻り、大阪・東京営業所に3年間勤務。2015年に多田屋6代目として代表取締役社長就任。和倉温泉旅館組合青年部部長、

石川県旅館組合青年部部長を経て、2024年能登半島地震後、和倉温泉創造的復興ビジョン策定委員会の委員長に就任し、現在は和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会の代表を務める。1976年生まれ。



武田 泉穂氏 ビジョンインキュベイト 取締役／MVP 代表取締役／金沢大学 客員教授

東京工業大学（現・東京科学大学）にて博士号を取得（理学）。専門は生物物理学。博士研究員を経て、ライフサイエンス・バイオテックを主軸とした複数のベンチャービジネスに経営者・創業者・投資家として参画。ヘルスケア、医療、バイオ業界における事業開発を専門とする。

MVP株式会社代表取締役、株式会社ビジョンインキュベイト取締役、金沢大学経営協議会委員／客員教授、東京科学大学知財MOT非常勤講師、科学技術振興機構大学発新産業創出基金事業ガバナリングボード委員、ほか。

●モデレーター

福田 布貴子氏

来場者アンケート

本日のフォーラムに対するご意見・ご要望など、アンケートにご協力ください。

https://esf.nikkei.co.jp/chihou250920_en



日経チャンネルにてアーカイブ配信!

本シンポジウムのアーカイブは日経チャンネルでご覧いただけます。

<https://channel.nikkei.co.jp/chihou202509>

日経チャンネル 検索

